

資料 3

平成 29 年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 1 月 24 日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業 目的	期間・回数	参加者数	学習成果	主な講師
1	柳 沢	教養講座 Part 1 「自然健康法～東洋 の健康法でストレス を解消し元気を養う ～」	学習・ 自己実現	11 月 15 日・22 日・29 日 水曜日 全 3 回	延 105 人	今まであまり公民館に馴染みのなかつた市民が参加しやすい講座にしたことで、公民館で学ぶことの意義等を理解して頂き、今後の活動、参加者自身の気づきや価値観等に少しは影響を与えられた。	出口衆太郎(日中健康センター気功太極拳主任指導員、自然身法研究会代表、江戸健康法・風水研究家)
2	田 無	子育て中の女性のための講座 「わたしたちが未来をツクル」	地域 づくり	4 月 27 日～ 7 月 13 日 金曜日 全 15 回	延 64 名	貧困や格差の問題について女性としての視点を持って考えていく中でどのように行動していくのか子育て中の仲間同士共に考える機会となった。	宮里民平氏(旬報法律事務所弁護士) 他 3 名
3	田 無	歴史講座 田無村とゆかりのある「顧想園」を訪ねて	学習・ 自己実現	11 月 21 日・ 28 日 火曜日 全 2 回	延 49 人	「顧想園」は当主と地域住民の熱い思いで江戸時代後期の姿を残す貴重な文化財である。建造物や歴史を知るとともに、田無下田家と深い関わりがあることを学習した。終了後も有志で文化財巡りを続けている。	近辻喜一(郷土史研究家、田無地方史研究会代表)、 黛 隆一(顧想園サポートクラブ代表)、 郡司恒夫((顧想園サポートクラブ会員)

4	芝久保	創作講座 「安房直子の童話で影絵劇をつくろう」	学習・ 自己実現	7月15日～ 11月25日 土曜日 全15回	10人	芝久保公民館まつりでの発表に向けて、アイデアを出し合い、役割分担をするなど、積極的な話し合いによる共同作業が行われた。まつり当日の発表では多くの観客の前で練習の成果を発揮し、好評を得て、達成感を味わうことができた。今後は自主サークルを立ち上げ、影絵制作の活動を続けていく。	倉本 徹 (劇団スタジオライフ) 横田千恵子 (安房直子倶楽部) 高島美希 (美術講師)
5	芝久保	中高年対象講座 「身体づくりと自然散策！」	交流	10月2日(月)・ 11日(水)・16日(月)・ 25日(水)・30日(月) 全5回	延63人	普段の生活に役立つ、無理のない自然な身体づくりを楽しく学べた。その後、運動の成果を発揮するために、4.4kmの市内散策で参加者同士の交流と仲間意識が一層深まった。	中野みゆき (健康体操指導員) 中村賢司 (西東京自然を見つめる会代表)
6	芝久保	親子対象講座 「親子で影絵ワークショップと影絵劇「銀河鉄道の夜」鑑賞」	交流	12月2日・9日 土曜日 全2回	延145人	影絵を通してものづくりの面白さ奥深さを親子で体験し交流できた。影絵劇では地域の大人も一緒に名作文学に触れ、感動を共有できた。	倉本 徹ほか (劇団スタジオライフ)
7	谷戸	私たちの地域と歴史を学ぶ ～田無の水と人々の暮らし～	学習・ 自己実現	11月8日・15日 水曜日 全2回	延58人	水を媒体に保谷と田無の成り立ちの違いを知り、水の果たす役割や影響など水の有無が暮らしに大きく関わることを学ぶことができた。また、新田開発が地域発展(鉄道の整備などの近代化)へ大きく関わっていたことを学んだ。	近辻喜一 (西東京市在住の郷土史研究家) 高橋 孝 (「下保谷の歴史と文化を記録する会」 「古文書研究所」会員)

8	谷戸	SNSトラブルを回避するために ～自覚を持たせるための情報モラル～	学習・ 自己実現	12月16日・23日 土曜日 全2回	延22人	トラブルに巻き込まれないために、自分と他者との感じ方の“ずれ”をカード教材を通して議論することで問題を自分のこととしてコミュニケーションのとり方を考えた。 メディアは「送り手の意図」によって構成していることを理解し、情報を鵜呑み「送り手の意図」を推察する力をつけることが、リスクを避けSNSを安全に使うために必要不可欠と学んだ。	酒井郷平(静岡大学教育学部学術研究員) 塩田真吾(静岡大学教育学部学校教育講座・准教授)
9	谷戸	子ども体験講座 「おせち料理にチャレンジ!」	学習・ 自己実現	12月26日(火) ①10～12時 ②13時半～15時半 全2回	延24人	おせち料理を通し、日本の伝統行事や食文化について知識を深められた。また和食ならではの多彩な手法や道具を使い、自分で調理することで達成感が感じられた。	吉田朋子(管理栄養士・キッズキッチンインストラクター)
10	ひばりが丘	高齢者の課題を考える講座 「知りたい!高齢者問題のあれこれ」	学習・ 自己実現	10月26日、11月2日・9日・16日 木曜日 全4回	延91人	高齢者にまつわる身近な課題(防災・在宅療養・葬式(お墓)・困った時の相談先)について学んだ。講座を通して、事が起きる前の備えや問題の解決として必要なことを家族や周りの人と話し合ったり、決めたりすることが大切であるという事を実感できる。	小野修平(防災アドバイザー) 石井孝行(緑町地域包括支援センター) 有馬将由(NPO法人終活支援センター代表) 篠原京子(ほっとネット地域福祉コーディネーター)

11	ひばりが丘	地域を考える講座 ハッピーをデザインする！～地域学校協働について学ぶ～	地域づくり	11月25日（土）	21人	文科省が推進する「学校を核にした地域強化プラン」に基づく「地域学校協働活動」について理解する機会となった。杉並区の「地域学校協働活動」の先進的実例に触れつつ、自分達が今関わっている事業や地域活動と照らし合わせながら、この地域で何ができるかを考え合う場となった。	中曽根 聡（杉並区教育委員会事務局社会教育主事・元西東京市公民館運営審議会委員）
----	-------	----------------------------------------	-------	-----------	-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------